

函 企 交

令和7年(2025年)4月18日

総務常任委員会委員 各位

企 画 部 長

参考資料の配付について

このことについて、本年4月に書面開催された「函館市地域公共交通協議会 令和7年度第1回総会」において議題として提出された資料を、下記のとおり配付いたします。

記

○ 配付資料

- ・函館市地域公共交通協議会 令和7年度第1回総会資料

(計画推進室交通政策課 TEL 21-3625)

令和7年度第1回函館市地域公共交通協議会総会（書面協議会）

議題要旨・資料目次

<議題要旨>

議題番号	議題	概要
1	令和7年度事業計画(案)および収支予算(案)について	函館市地域公共交通協議会における令和7年度の事業計画(案)として、各種法規定に基づき、公共交通に関する各種協議を行うほか、令和6年度に実施した「函館市西部地区AⅠデマンド交通実証運行」の実績をもとに、今後の方向性等について、調査・検討・協議を行うこととする。 また、令和7年度収支予算(案)として、協議会開催に係る事務費480千円を計上する。
2	函館市地域公共交通協議会における監事の互選について	函館市地域公共交通協議会規定第6条により、本会の監事は2名を置くほか、監事は委員の互選により定めることとしているところ、監事のうち1名である前任の大原委員（前：北海道渡島総合振興局地域創生部地域政策課新幹線推進室長）が、令和7年4月1日付け人事異動に伴い委員の交代となったことから、事務局案として大原委員の後任である津田委員を監事候補に挙げ、互選を行う。

<資料目次>

資料1-1 函館市地域公共交通協議会 令和7年度 事業計画(案)

資料1-2 函館市地域公共交通協議会 令和7年度 収支予算書(案)

資料2 函館市地域公共交通協議会における監事の互選について

函館市地域公共交通協議会 令和 7 年度 事業計画
(案)

本協議会は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（平成 19 年法律第 59 号。）および道路運送法（昭和 26 年法律第 183 号）の規定に基づき、公共交通に関する各種協議を行うほか、令和 6 年度に実施した「函館市西部地区 A I デマンド交通実証運行」の実績をもとに、今後の方向性等について、調査・検討・協議を行うこととする。

資料 1 - 2

函館市地域公共交通協議会 令和 7 年度収支予算書 (案)

(収入の部)

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度 予算額 (A)	令和 6 年度 予算額 (B)	比 較 (A) - (B)	説 明
負担金	479	22,839	△ 22,360	函館市
雑 入	1	1	0	預金利息等
合 計	480	22,840	△ 22,360	

(支出の部)

(単位：千円)

科 目	令和 7 年度 予算額 (A)	令和 6 年度 予算額 (B)	比 較 (A) - (B)	説 明
事業費	0	22,354	△ 22,354	令和 6 年度事業費は「函館市西部地区 A I デマ ンド交通実証運行」に係る費用を計上
需用費	0	322	△ 322	印刷物作成, 消耗品 (印紙, 事務用品等) 購入
使用料及び 賃借料	0	1,953	△ 1,953	説明会会場, AI デマンド配車システム使用 料
役務費	0	639	△ 639	広告掲出, 物品搬送等
委託料	0	19,440	△ 19,440	車両運行, コールセンター等
事務費	479	485	△ 6	
報償費	390	390	0	本協議会 5 回, 分科会 2 回, WG 会議 5 回想定
需用費	0	0	0	
使用料及び賃借料	9	14	△ 5	協議会会場使用料
役務費	80	81	△ 1	振込手数料等
予備費	1	1	0	
合 計	480	22,840	△ 22,360	

函館市地域公共交通協議会における監事の互選について

- 1 選任者 北海道渡島総合振興局
地域創生部地域政策課新幹線推進室長
津田 陽一 委員
- 2 選任日 令和7年4月1日
- 3 選任の経緯 前任の大原委員（前：北海道渡島総合振興局地域創生部地域政策課新幹線推進室長）が、令和7年4月1日付け人事異動に伴い委員の交代となったことから、事務局案として大原委員の後任である津田委員を監事候補に挙げるもの。
- 4 関係条文 第6条 協議会に次に掲げる役員を置く。
 - (1) 会長 1名
 - (2) 副会長 1名
 - (3) 監事 2名2～4 (略)
 - 5 監事は、委員の互選により定める。
 - 6 監事は、協議会の会計を監査する。
 - 7 会長、副会長および監事は、相互に兼ねることはできない。